

# 東建パブリニュース

平成30年10月3日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

## 掲載 平成30年8月3日 産業新聞 P. 4

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

「栄タワーヒルズ」建設現場を公開  
東建コーポ

【名古屋】東建コーポレーションは1日、名古屋市中区に建設を進めている高級賃貸マンション「栄タワーヒルズ」の建設現場を報道陣に公開した。2019年2月の竣工に向けた順調な施工進捗や、名古屋地区では数少ない富裕層をターゲットとした、ホテル並みの上質なサービスを提供する賃貸マンションとしてのコンセプトをアピールした。

「栄タワーヒルズ」は、名古屋の繁華街に近接する中区栄3丁目、敷地面積3102平方メートル、延べ床面積2万6867平方メートル、地上28階、地下1階の規模で建設。1〜4階に店舗、オフィスのほか、日本刀や甲冑を集めた博物館「刀剣ワールド」が入り、5〜27階が住居ゾーン、28階が屋上展望デッキとなる。住居は5タイプに分かれ、最高級のスイートプレミアムは3LDK+パントリールームで月額164万1000円の家賃。

構造は鉄筋コンクリート造・鉄骨造で、住居ゾーンの各階に4〜5本の制震ダンパーを設置し、震度6〜7級の地震への安全性も高い。鉄筋使用量は約3800ト、鉄骨使用量は約580ト。

当日は、内装工事を終え家具も設置した12階のデラックスルームと、躯体工事などが終了した段階の26階を公開し、高級感漂う室内と地上約80メートルの眺望を披露。現在、全体工程の70%を終え、5月末から開始した入居者の募集も12%強と順調な立ち上がりとなっていることや、刀剣ワールドでは約200振りの刀剣や甲冑を常設展示する、日本一の展示数を誇る博物館となることなどが説明された。



栄タワーヒルズ(右下は建物内に設置した制震ダンパー)

以上